

「令和4年度ひがよどなごみ勉強会事業業務委託」に係る
公募型プロポーザル方式による選定結果について

1 案件名称

令和4年度ひがよどなごみ勉強会事業業務委託

契約期間 令和4年4月1日から令和5年3月31日まで

2 選定した委託予定事業者

特定非営利活動法人 青少年自立支援施設 淡路プラッツ

3 公募期間

令和3年12月16日から令和4年1月12日まで

4 学識経験者等の意見を聴取する選定委員による審査の結果

(1) 選定委員名簿（敬称略）

委員氏名	役職等
加美 嘉史	佛教大学社会福祉学部社会福祉学科 教授
梅木 真寿郎	花園大学社会福祉学部社会福祉学科 教授
中野 加奈子	大谷大学社会学部コミュニティデザイン学科 准教授

(2) 選定会議の開催日

令和4年2月21日

(3) 審査基準

審査項目	配点
事業の趣旨・目的の理解、事業の専門性	60点
収支計画	15点
事業の円滑な運営	195点
業務体制	30点
合計	300点

(4) 審査を行った事業者（五十音順）

株式会社イング

株式会社トライグループ

特定非営利活動法人青少年自立支援施設淡路プラッツ

全3者

(5) 審査の結果（選定委員の評価点の合計点）（合計点の高い順）

審査項目	A	B	C
事業の趣旨・目的の理解、事業の専門性	55 点	45 点	45 点
収支計画	13 点	9 点	10 点
事業の円滑な運営	172 点	143 点	139 点
業務体制	28 点	22 点	23 点
合 計	268 点	219 点	217 点

(注) 採点結果の点数は 3 人の選定委員による採点の合計点（各委員 100 点）

委員の評価点の平均が 60 点に満たない提案は、選定しないこととする。

(6) 選定理由

- ・ 「貧困の連鎖を解消する」というコンセプトのもと、今日の中高生、特に本事業を利用する東淀川区の子どもたち、保護者が抱えている様々な困難を的確に理解した事業運営の計画がなされており、学習意欲が持てなかったり動機づけが弱く参加に消極的な子どもたちへの配慮をきめ細かく行うことが窺えた。
- ・ 個別支援計画が具体的に提示され、最も困難な状況に置かれた子どもが孤立せず学習能力を向上させることが可能な体制である。
- ・ 居場所づくりの重要性を理解し、中高生のロールモデルとなるサポーターの養成においても地域の特性を踏まえたうえでの実施が計画されている。
- ・ 季節に応じたイベントの企画など、経験の機会を得られない子どもに機会を提供するだけでなく、保護者の参加も呼びかけて保護者支援も視野に入れている。
- ・ 研修において性教育及びセンシティブな問題への対応方法を学ぶ計画がされており、学習支援に加えて生活面から子どもを支援する体制が充実している。